



自己紹介

大淵由貴（おおぶちゆき）1988年東京都江戸川区出身。千葉大学法経学部総合政策学科卒。大学時代は環境NGOの活動に従事、また休学してバンクーバーでワーホリを経験。卒業後、電機メーカーで5年間営業を勤め、会社を退職して青年海外協力隊としてマダガスカルで活動中。

ノリの替わりはお米ではなく…?

日本祭りの事前広報として町にポスターの掲示を行いました。液体のりを使って、家の壁や市場の入り口に貼り付けていたら、「ノリよりバナナがいいよ!」と言われました。半信半疑でバナナを買ってポスターに塗り付け、貼ってみたところ、ノリより強力! 値段も10分の1で済みます。生活の知恵ですね。



ミニ日本祭り@アンズズルベ小学校

～学校をより良くするための資金集め～

同任地の隊員とともに小学校で日本文化やボランティア活動を紹介する小規模なお祭りを実施しました。小学校で実施している学校菜園で採れたさつまいもを販売し、**学校の運営資金を集める**ことが目標です。実施したプログラムは「**浴衣の着付け体験**」「**野菜ケーキ・スープ（さつまいも入り）の販売**」。同僚や友人、様々な人が来て着付けを楽しんだり、料理を購入してくれました。

結果、**販売で利益を出し当初の学校運営資金を集める目標は達成**しました。しかし、想定以上に来場者が少なく**実施できなかったプログラムがありました**。反省点としては、**プログラム内容の決定にマダガスカル人を巻き込まなかったこと**。事前の広報、プログラムの順番、祭りの開催日時等、事前にもっと相談しておくべきだったと振り返って思いま

す。彼らが消極的だったのでは決してなく、当日はマイクで宣伝活動をしたり、スピーカーをどこから持ってきて音楽を流したり、積極的に料理販売も手伝ってくれました。準備7割といいますが、次回は今回の反省を活かし、より多くの人に楽しんでもらえるイベントにしたいと思います。

お祭りに残ったスープを家の前で販売。歩き売り、量を少なくして単価を下げる、量り売りなどやれることは何でも実施!



キャンセルになったプログラム①

石を3つ置いただけのかまどと土で作った改良かまどの**薪の使用量比較実験**結果紹介



教育系の行政職員が手伝ってくれたケーキ・スープ販売



子どもたちが畑でさつまいも堀をした時の写真を掲示



浴衣の着付け体験。写真を撮り、印刷費に少し上乗せして販売することで資金確保に努めました



キャンセルになったプログラム②

演劇を組み込んだ理科実験（空気砲実験）